

神奈川と静岡の県境をまたぐ道路（伊豆湘南道路）に関する委員会 第 4 回

1 日時

令和 7 年 3 月 28 日（金曜日） 10 時 00 分から 11 時 05 分

2 場所

TKP 新横浜カンファレンスセンター カンファレンスルーム 5 C
（横浜市港北区新横浜 2-4-19）

3 出席委員

岩田 孝仁	静岡大学 特任教授
大久保 あかね	静岡県立大学 教授
奥 真美	東京都立大学 教授
◎中村 英樹	名古屋大学 教授
藤山 知加子	横浜国立大学 教授
二村 真理子	東京女子大学 教授

【五十音順：敬称略】◎は委員長

3 出席オブザーバー

鳥畑 一博	国土交通省関東地方整備局道路部道路計画第一課長
柴田 康晴	国土交通省中部地方整備局道路部道路計画課長

議 事 概 要

広域道路ネットワークの観点から見た地域の現状と課題について

- 地域の課題について、平常時、災害時、観光期等に分けて整理しているのは分かりやすいが、観光期に災害が発生した場合の対応等についても整理すると、道路の必要性が高まる。
- 台風や大雪等の比較的発生しやすい災害と、富士山の噴火や大地震といっためったに発生しない災害は、分けて整理した方が分かりやすい。

- 最近は、年間を通して外国人観光客が増えていることから、今後のインバウンドの状況についても注視してもらいたい。
- この地域は、春の旅行シーズンやゴールデンウィークなど、年間を通して多くの観光客が訪れることから、8月以外の休日についても整理して欲しい。

地域の課題を踏まえた政策目標の見直し（案）について

- 住民生活については、伊豆湘南道路ができることによって、伊豆半島の定住人口を維持するといった意義が含まれていることを意識してもらいたい。
- 新たな政策目標（案）について承認された。

今後の検討の進め方（案）について

- 技術的な課題等への対応について、この地域は、複雑な地形や火山帯、断層等のリスクがあり、構造物の施工も非常に難しいと考えられることから、地形や地質、構造等の専門家によるリスク評価を行うことが望ましい。
- 意見聴取については、温泉に関して、源泉管理者や研究所等にヒアリングを行って欲しい。
- 審議の意見を踏まえることにより、意見聴取方法について、了承された。また、地形・地質・構造上の課題に関して技術検討専門部会の設置を検討する。

以上